

SC-IB NEWSLETTER

2026/07/24 発行

I 8・9 月の茨城県連盟・日本連盟事業 ※会議等は除く

月日	名称	主催/開設	内容
8月4日 ～10日	第19回 日本ジャンボリー	日本連盟	野外料理を通じて、県内多くの指導者の方々の交流を図り、つながりを強化したいと思います。
9月6日	第91回 ボーイスカウト 講習会	指導者養成 委員会	指導者導入訓練であり体験を通してスカウト運動の概要とスカウト教育の原理と方法を学びます。 「申込締切: 8月28日」
9月6日	第8回 安全危機管理 ステップ1	指導者養成 委員会	事故に至らないような安全の管理、事故が起きた時の対処などを実技を通して修得します。 「申込締切: 8月28日」
9月6日	県スカウト フォーラム	イベント国際 委員会	11 月に予定される第 26 回全国スカウトフォーラムに向けて、各地区フォーラムでの採択事項を持ち寄り県連盟としての提言をまとめます。当日は茨城県連盟の代表スカウトも選出いたします。 今回のテーマは「高校生年代×地域社会 ～私たちだからできること～」です。
9月21日	スカウトの日	日本連盟	全国のスカウトや指導者が地域社会への奉仕活動をはじめとする様々なスカウト活動を、全国の各地域において一斉に展開し、加盟員一人ひとりが地域社会に貢献することを目的に実施しています。 今年のテーマは「出動！キラまち隊！～人と地球によりよい未来を～」です。

※各種事業の参加申込締切にご留意ください。地区コミッショナーや団委員長は各指導者の、また各隊隊長はスカウトの参加申込について、フォローの程宜しくお願い申し上げます。

II 県コミッショナーからのお知らせ

1. 令和8年度第1回「指導者のつどい」開催報告（熊谷県副コミッショナー）

6月7日(日)に笠間市の福ちゃんの森公園バーベキュー場にて指導者のつどいを開催しました。県コミグループを含め55名のご参加をいただき、各地区及び県コミグループ、茨城ローバースカウト協議会が計7箇所野外料理を展開しました。参加者は各コーナーを自由に巡りながら、料理スキルを学ぶと共に、参加者相互の交流を行いました。

指導者のつどいでの野外料理は昨年度も実施しましたが、参加人数は昨年度の48名から今年度55名と増えており、指導者のニーズに応えられたのでは、と考えています。

開始早々、料理を行う方、一緒に手伝う方などで活気に満ちた雰囲気となり、多くの指導者が交流を深め、初対面であっても料理という題材を中心に会話が盛り上がっている姿が見られました。また、ローバースカウトも昨年度は参加者が2名でしたが、今年度は6名と増え、若手指導者候補としての活躍に期待が持てます。

次年度については、野外料理だけではなく、スカウトスキルも盛り込むことを検討していき、多くの指導者にスカウト運動の楽しさを体験・理解していただけるよう工夫して行きたいと考えます。



Ⅲ 各種委員会よりのお知らせ

1. イベント国際委員会（園部委員長）

1-1) 第 26 回全国スカウトフォーラム

隔年で開催される全国スカウトフォーラムが下記のとおり開催されます。
スカウトフォーラムではスカウト個々が自己の成長をはかり、幅広い社会性を身につけ、相互の理解を深めるための貴重な機会が提供されるように開催されます。

期間 11 月 21 日(土)～23 日(月・祝) 2 泊 3 日
会場 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都代々木)
テーマ 「高校生年代×地域社会～私たちだからできること～」

これに先立ち、茨城県連盟においても9月6日(日)に県連盟のスカウトフォーラムを開催いたします。

これから各地区でフォーラムを開催していただき、各地区の採択事項を持ち寄って県連盟での採択を行い、代表スカウト 1 名が全国スカウトフォーラムに出席いたします。
各地区での活発な議論をお願いいたします。

1-2) ベンチャーラリー2026

ベンチャースカウトの交流と自発活動促進のために毎年実施しているベンチャーラリー2026 を今年度も開催いたします。

昨年度は山手線一周ミッションハイクを1泊2日で実施しました。

既にご案内のとおり実行委員会を立ち上げて内容を検討してまいります。実行委員は今後も追加可能ですのでどんどん応募してください。

なお、第1回の実行委員会は下記のとおり開催いたしました。

日時 7 月 11 日(土) 14:00～16:00

場所 地域交流センターともべ「ともあ」(JR 友部駅前)



参加スカウトは実行委員14名中6名でしたが、活発な意見交換の結果、今年度実施したいプログラムについて沢山の案が出ました。今後実施に向けて詰めていきます。

次回の実行委員会については後日連絡いたします、実行委員以外のスカウトも自由参加としますので奮ってご参加願います。

2. 地域連携・広報委員会（富田委員長）

2-1) 2026年度「スカウトの日」実施速報集計のお願い

4月21日及び6月16日の県連連絡信でご案内済みですが、スカウトの日の参加及び資材の申し込みはお済みでしょうか。

今年度のテーマは、「出動！キラまち隊！～人と地球によりよい未来を～」です。

県連盟でも実施結果の速報集計を致したく、実施内容と活動時の写真等につきまして、各地区の地域連携広報委員長へ9月25日迄にご送付の程お願い申し上げます。(9/25以降に活動を予定されている団・隊は、予定日のみご連絡ください。また、活動後に実施結果を各地区地域連携広報委員長へご連絡戴けますと幸いです。)

速報集計や実施内容は、理事会を通して茨城県や振興議員連盟に報告され、各市町村の団がどのような活動をしているか、ご関心のある地域の皆さんへの報告ともなります。

2-2) 撮っておきの写真コンテスト&カレンダープロジェクトご協力のお願い

6月15日の県連連絡信でご案内済みですが、令和8年度「撮っておきの写真コンテスト&茨城県連盟カレンダープロジェクト」を実施中です。

テーマ:「広めよう！スカウティングの楽しさを」

今年度は応募締切が「9月15日」と、例年より少し早めておりますのでご注意ください。

皆様からの多くのご応募をお待ち申し上げます。

2-3) 防災キャラバン2026

今年度の防災キャラバンは以下の様に予定しております。

日時 11月21日(土) 10:00～16:00

場所 イオンタウン守谷(守谷市百合ヶ丘 3-249-1) セントラルコート

第6地区の指導者各位、ベンチャースカウト諸氏、県内のローバースカウト諸氏のご協力を戴いて当日の運営を行う予定ですが、他地区のベンチャースカウトや指導者の方々もご協力歓迎いたします。

スタッフ募集の詳細は近日中に発信予定ですので、宜しくお願い申し上げます。

2-4) 2026年度難民支援衣料回収プロジェクト(申込締切間近)

日本連盟事務局への、衣料回収プロジェクトの締切が迫っております。毎年春と秋にキャンペーン期間を設けて実施している事業で、ユニクロを運営するファーストリテイリング社との協業です。詳細は日連 Web ページをご参照ください。

申請期間: 6月1日(月)～7月26日(日)

学習・協力依頼期間: 8月1日(土)～10月4日(日)

回収・発送期間: 10月上旬～11月中旬

リンク: https://www.scout.or.jp/member/support_for_refugees

Ⅳ 各地区・各団の活動紹介

1. 高萩第2団発団（高萩第2団 団委員長 増田秀夫）

この度、ボーイスカウト高萩第2団はおかげさまで、地域の皆さまに見守られながら、正式に活動を開始することができました。

高萩市における青少年育成の一端を担う団として、今後はより一層地域社会に貢献できる活動を推進してまいり所存です。引き続き、ご指導・ご支援を賜りますよう、団を代表してお願い申し上げます。



2. 日立8団カブ隊、高萩2団カブ隊、ビーバー隊の合同隊集会

(高萩第2団 八城貞子)

5月17日、日立8団カブ隊と高萩2団カブ隊の合同隊集会が行われ、午後からは高萩ビーバー隊も合流して高萩市消防署を見学しました。

1) 日立8団カブ隊と高萩2団カブ隊の合同隊集会

「防災すごろく」で学ぶ“備える力”

午前中のカブ隊は「防災すごろく」で学ぶ備える力を考えました。スカウトたちは「自然の力の前では人は無力である」ことを理解しつつ、**どんな場所で何が起きても慌てずに行動できるようにするにはどうすればよいか**を話し合いながら学びを深めました。

本物に触れて知る“命を守る仕事”

午後は消防署見学として、救急車の内部を見せていただき、消防車に積まれている器具・ロープ・ホース・バック類の説明を受け、実際に触れて重さや大きさを体感しました。また、消防士さんが普段身に着けているヘルメットや防火服を着させてもらい、消火器を使った消火体験にも挑戦しました。スカウトたちからはこんな声が上がりました。「消防士さんが持っているホースや重機、めちゃくちゃおもしろかった」「消防士さん、ムキムキな人が多かった」「僕たちの住んでいる街を守ってくれてありがとう」 ちょうど見学中には、ドクターヘリの着陸支援に出動していた救急車と消防車が戻ってくる場面にも遭遇し、スカウトたちは真剣な表情でその様子を見守っていました。

2) ビーバー隊: 家族で決める“もしもの集合場所”

午後の集会には高萩第2団ビーバー隊も合流し、高萩市消防署を見学しました。

ビーバー隊は見学前に、地震などで家に帰れないときに備え、**家族で集合場所を決めておく大切さ**について話し合いました。その後はカブ隊と一緒に消火訓練も体験し、消防署の仕事への理解を深めました。

今回の合同隊集会では、「**自分の身を守る力**」「**地域を支える人への感謝**」を、体験を通してしっかり学ぶことができました。

スカウトたちにとって、消防署での本物の体験は大きな刺激となり、「備えることの大切さ」を実感する貴重な一日となりました。



3. ワクワク自然体験あそび（ひたちなか第1団 磯崎幸子）

ひたちなか第1団は、ひたちなか市より青少年体験学習事業業務委託を受けて、『ワクワク自然体験』を5月10日（日）に市少年課、団委員、指導者、ボーイ・ベンチャースカウト、保護者にも協力をお願いし、プロンちゃんパーク（ひたちなか市親水性中央公園）で開催しました。

今年度は『ボーイスカウトと遊ぼう・みんな集まれ!!』をテーマに多くの子どもたちに参加を呼びかけました。市内小学1年生から5年生を対象に39名参加しました。勿論、当団ビーバースカウト、カブスカウトも参加しました。当日は天気にも恵まれ、新緑も青々と茂り体験活動にはとても良い日でした。参加者は5グループに分かれて、火おこし・ツイストパン・モンキーブリッジ・追跡ハイク・キムスゲーム等のブースを保護者同伴で体験を楽しんでいました。火おこしは時間を決めたためスムーズに進行出来ました。ボーイ隊のスカウトが優しくサポートし、とても良い体験活動となりました。

今回は年2回発行の団広報誌『ひな1通信』をお土産と一緒に紙袋に入れて保護者に渡しましたところ、何人かの保護者さんからの連絡をもらいました。説明会を開いて入団に繋げていきたいと思います。



4. わくわく自然体験あそび・地区スカウト祭（取手第3団 中野優子）

5月10日に第6地区にて、わくわく自然体験あそび・地区スカウト祭を実施しました！

【午前中 わくわく自然体験あそび】

🌿 自然を体験しよう 🌿 ○わくわく自然体験あそび参加者、スカウトは自由に回り体験

実施プログラム（地区内各団・各隊準備）

☆葉っぱを集めよう

☆木を測ろう

☆暗夜行路

☆カモフラージュ

☆ウッドクラフト

☆くもの巣

☆ワイルド・トレジャー・ハンター

☆森の精霊のために塔を作ろう！

☆輪投げ



輪投げの準備♪



葉っぱを集めよう

わくわく自然体験あそびとして遊びに来てくれた子にスカウトが優しく「一緒にやる？」「これはこうだよ」と声を掛ける様子、木や鳥、石や虫を探すために視線をあちこちに向けたりする姿が見られ、「自然」と「心の温かさ」を感じられる活動となりました。



くもの巣～



森の精霊のために塔を作ろう！

【午後 地区スカウト祭】

🔥 団対抗 キャタピラレース 🔥

キャタピラが壊れようが
まっすぐ進めなろうが
チームのために全力で這いつくばり
自分の団が勝つように全力で声を出す
スカウトも指導者・保護者も関係ない！！

勝っても負けても仲間とのつながりを感じ、
自分の団をもっと好きになる…そんな熱いレースになりました。



5. 林業体験（神栖第1団 伊藤寿男）

6月21日神栖第1団のビーバー、カブ、ボーイのスカウト達と団委員を含む指導者、保護者の皆さんで、大型バスに乗り込み、那珂市のボタニカルリゾート林音（茨城県植物園）に向かい、公益社団法人茨城県森林・林業協会主催の体験学習に参加してきました。大型バスも森林・林業協会にて手配戴いたものです。

現地では、森林・林業協会の今井様といばらき森林づくりサポートセンターの益子様にガイド戴き、園内の自然観察、温室見学、ネイチャーゲーム、木工工作によるプランター作りなどを楽しみました。四葉のクローバー探しも楽しみましたが、中には七つ葉のクローバーを発見したスカウトもいて皆びっくりです。いつもは騒がしいスカウト達も、木に聴診器を当てて、中を通る水の音を真剣に聴いている時は真剣でとても静かでした。

蒸し暑い梅雨の合間でしたが、みどりに触れるよき一日となりました。



VI 連載コラム ～信仰奨励専門委員会より～

スカウティングと信仰

毎年4月あるいは9月に新年度がスタートして、県内各地の団の入隊・上進式において新しい制服に袖を通したスカウトが元気よく「ちかいの式」をおこない、心新たに活動されていると思います。

「ちかいの式」では、スカウトが声高らかに「ちかい」をたてますが、指導者の皆さんは「ちかい」の意味をスカウトたちにどのように伝えているのでしょうか？

<3つのつとめ>

○神(仏)・国へのつとめ

一、「神(仏)と国とに誠を尽くしおきてを守ります」

・誠とは、「言 + 成」となり、「言ったことを成す」すなわち「有言実行」となる。

・神(仏)と自分の生まれた国に対して、8つのおきてを守ることが「有言実行」になる。



○他人へのつとめ

一、「いつも他の人々をたすけます」

・知識や技能を身につけ、身につけたものを用いて、他の人々の役に立つことを行う。

・それは神(仏)さまの願われていることである。

○自分へのつとめ

一、「からだを強くし心をすこやかに徳を養います」

・身体を強く心を健全にすること。このことは、善いことを行う心をつくることに繋がり、良い人格にも繋がっていく。

・徳とは、人が生まれながらに身につけ、日々の行いや心の修養によって高めていく「優れた品性」や「思いやりの心」を指します。

・・・これらの意味を、活動の中で繰り返し伝えていくことも良いでしょう。

創始者ベーデン・パウエルは、「人へのつとめを行うとは、思いやりをもって人の役に立つこと」と言われています。これからもスカウト活動を通じて、「私たちにできること」をみんなで考え、取り組んでいきましょう。

<各年代における信仰奨励>

◇ビーバー年代より前の幼年期でも、手を合わせて祈るという行為が自然と身についているのではないのでしょうか。日本に昔からある祭りや風習、季節の行事をうまく活用し、手を合わせて祈るという動作をくり返し行うことが大切です。指導者が動作の意味や導きを話すことで、ビーバー年代の信仰奨励へと繋げていきましょう。

◇カブブックには最初に「信仰とたしなみ」という課目があり、学年によって「笑顔」「感謝」「心がけ」という項目で信仰を促しています。カブ年代は「組」という固定的なメンバーで活動しますが、「笑顔」「感謝」「心がけ」は仲間と接するときの良い指針になり、組の結束や相互関係の構築にも役立つでしょう。これらの課目を活用して、隊長から信仰について話す機会を作ると良いと思います。

◇ボーイ年代になると信仰奨励章の取得が進級要件に入り、より具体的に信仰に取り組むこととなります。

信仰奨励章は、スカウトタウン・サービスを中心に、アンノンスカウトの逸話や班での奉仕活動、信仰する教宗派の宗教儀礼への参加や教導職から話を聞く、B-P のラストメッセージを班内で話し合うなど、信仰を深めることで取得できます。年少部門と同様に、くり返し実施することで理解を深め、活動の中で日常的にスカウトタウン・サービスを行うようにすることが大切です。

◇ベンチャー年代のスカウトには、宗教章を取得するようにぜひご指導ください。自身の信仰する教宗派のことを学び理解し、多くのスカウトが明確な信仰心をもつよう願っています。

◇ローバー年代および指導者は、日本連盟の規程に従って信仰をもち、スカウトの指導にあたらないければなりません。明確な信仰をもつことで、その言葉はスカウトへより深く伝わるでしょう。

(信仰奨励専門委員会 委員長 矢作博史)